学校だより

練馬区立小中一貫教育校



# 大泉桜学園

第 140 号 令和 5 年 10 月 2 日 発行者 池田 和彦

http://www.sakuragakuen.nerima-tky.ed.jp/

# 手っ取り早さの功罪

副校長 牧 田 淳 一

今年の夏、東京都心では記録的な猛暑日が続き、学校では常に熱中症対策を講じながら児童生徒の安全に気を配ってきました。10月に入り、ようやく朝夕の涼しさを感じるとともに、「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、あっという間に日が落ち、夕方の桜ロードには帰宅する児童生徒の細長くなった影法師がうつっています。

秋と言うと読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋と言われていますが、学びの秋でもあります。全国学力学習状況調査の分析では、主体的・対話的で深い学びをしている子供ほど学力が高い傾向があるそうです。先生が学習内容をすべて教え込むのではなく、児童生徒が自律的、協働的に学ぶ姿が、本校の授業の中でも見られます。児童生徒が課題について自分たちでタブレット端末を用いて調べ、友達と一緒に情報をまとめ、発表するといった光景は、今や当然のように学校に存在します。

しかし、今も昔も変わらない光景もあります。先生が黒板に新しく習う漢字を書き、それを見て児童生徒が一画ずつ丁寧にノートに書く。黒板に書かれた内容をノートに書いてまとめたり、自分の意見や考えを原稿用紙やワークシートにびっしり書いたりする。タブレット端末が全員に配付された今でも、手書きの文化は学校に根強く残っています。

文化庁が全国の 16 歳以上を対象に実施した 2021 年度の「国語に関する世論調査」では、パソコンやスマートフォンの普及で、言葉や言葉の使い方が影響を受けると考える人が 91%に上ったそうです。特に「手で字を書くことが減る」「漢字を書く力が衰える」という懸念が圧倒的に多いという結果が出ました。

そのような中で文化審議会は手書きの重要性を指摘していました。繰り返し漢字を書くことで、脳が活性化され、習得につながるそうです。ある大学では、教員の板書をスマートフォンで撮影し、ノートを使わない学生もいるようです。しかし、ノートを取るには情報を取捨選択し、何をどのように書いてまとめていくのか考えなければなりません。つまり、書くことは、「思考」につながるのだと思います。京都大学のある研究グループによれば、「手書きが認知能力の発達にまでおよぶ」と、手書きは「思考力の向上」に影響を与えることを示唆しました。

GIGA スクール構想が開始されてから 4 年。今後も教育の ICT 化はますます進み、児童生徒が早い段階から先端技術に触れる機会は不可欠となっていきます。しかし、学齢期の時にこそ、手書きの必要性を強く感じます。 ICT 機器は時間的、距離的な壁を瞬時に乗り越えることができますが、物事が手っ取り早く分かることにはデメリットもあります。評論家の小林秀雄は論じています。「物を考えるということは、物をつかんだら離さぬということだ。」「だから、考えれば考えるほど分からなくなるというのも、物を合理的に究めようとする人には、極めて正常なことである。だが、これは、能率的に考えている人には異常なことだろう。」安易に手っ取り早さを選択するのではなく、必要に応じて労力をかける経験は、児童生徒たちの成長に必要なことだと思います。

#### 第 5 学年 岩井移動教室

#### 第5学年主任 下川 洋平

9月6日(水)から8日(金)までの3日間、岩井移動教室に行き ました。子供たちにとっては初めての移動教室であり、2 学期が始ま ってすぐの実施ではありましたが、より充実した移動教室になるよう に一人一人が係の仕事を担い、準備を進めてきました。

1 日目には、佐倉市にある国立歴史民俗博物館を訪問し、グループ ごとに、縄文時代から現代までの展示を見学して、日本の民族史の発 展について学びました。また夜には、3Dアートに取り組みました。



3 Dアートとは、魚の絵に粘土を入れることで立体的にし、その周りを貝殻などで飾るものです が、どの作品もオリジナリティのある楽しい作品が仕上がりました。

2 日目は、鴨川シーワールドと大山千枚田に行きました。グループでの活動にも慣れ、事前に話 し合った見学の予定に基づき、それぞれの班が班活動を行うことができました。夜のキャンドル ファイヤーでは、大きなキャンドルの明かりを囲みながら歌ったり踊ったりして仲間との絆をよ り深めることができました。

3日目には、お世話になったベルデ岩井をあとにし、お土産の購入に向かいました。家族や親せ き、友達のお土産を選んでいました。その後予定していたマザー牧場への訪問は、台風接近の影

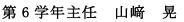


響を考慮して中止となりましたが、3日間を通して、子供たちの頑 張りと最高の笑顔をたくさん見ることができました。

他にも、時間の過ごし方や友達との協力、校外でのマナーなど、 たくさんのことを学ぶことができました。この経験をこれからの学 校生活でも生かし、より成長をしていけるようにしていきたいと思 います。移動教室に際し、様々ご理解・ご協力くださり、本当にあ りがとうございました。

#### 第6学年 水泳記録会

9月6日(水)、第6学年は水泳記録会を行いました。水泳記録会 は、練馬区内の6年生全員が行う行事であり、6年間の水泳学習のま とめとなっています。この水泳記録会は、25m自由形、同平泳ぎ、50 m自由形、同平泳ぎの4種目にエントリーして泳ぎます。6年生はこ の日のために、水泳の授業内でエントリー種目の練習を行いました。





本番前は「緊張する。」「泳げるかな。」など不安な声も聞こえまし

たが、周りの声援もあり、本番は全ての力を出し切り、エントリーした種目を最後まで泳ぐこと ができました。

また、例年教員主体で取り組んでいた記録会を、今年度は児童が主体となって取り組むよう、



計時をしたり、記録をしたりと実行委員を中心に行いました。出場 するだけでなく、自分たちで行事を行うことも成長につながったよ うに感じています。

6 年生として日々過ごしていく中で、一つ一つ行事を終える度に 担任としてたくましさを感じるとともに寂しさも感じています。卒 業までの学校生活が充実したものとなるよう、これからも指導して いきます。保護者の皆様には、これまで体調管理や持ち物の用意にご協力くださり誠にありがと うございました。

#### 第7学年 防災校外学習

第7学年は、9月14日に「東京消防庁本所防災館」・「国立科学博物館」を主な目的地とした防災校外学習に行ってきました。第7学年で実施する校外学習の目的は、①防災リーダーとして、自然災害の備えと対処方法について体験的に学習する。②班別行動を通して、公共交通機関の利用方法、ルール、マナーを学び、これからの校外学習や修学旅行につなげることでした。

第7学年担任 横沢 大喜



生徒たちは、事前にタブレットを使用し経路を調べ、防災につい

ての事前知識を深めていく学習を行いました。当日は、道を間違えてしまったり、乗るはずだった電車に乗れなかったりというアクシデントもありましたが、班で協力して乗り越えることができました。生徒たちの作文やアンケートから、「班長や班員の声掛けがとても大事だった」という感想が聞けたので、防災校外学習を通して、非常に良い経験をできたのだと思いました。なお、これからの事後学習では、調べたものをまとめて一つの作品にしていく学習を行います。作品は、学習発表会で展示する予定ですので楽しみにお待ちいただけたらと思います。



このように、学校で実施する校外学習は、「計画→実行→評価→改善」といったサイクルがとても大切です。第7学年の段階で、そのことに気付けた様子もあり、これからの学習において、非常に頼もしく成長してくれるだろうと我々教職員も手応えを感じました。今回の体験を是非、御家庭でもお聞きいただき、校外学習に関する会話をしていただけたらと思います。ご多用のところ、準備等のご協力ありがとうございました。

#### 第 1~2 学年 生活科見学~発見いっぱい!わくわく多摩六都科学館~

第2学年担任 奥山 大輝

9月14日(木)、1、2年合同で生活科見学に行ってきました。今年は、西東京市にある多摩六都科学館へバスで出かけました。館内では、1年生と2年生の縦割り班(20グループ)に分かれて、見学や体験をしたりお弁当を食べたりしました。また、プラネタリウムも鑑賞しました。



事前学習では、「どうすれば充実した生活科見学になるのか」「安

全に楽しく学習するためには、どんなことに気を付けたらよいか」ということについて話し合い、 準備をしました。2年生が中心となって、班のめあてや見学する順番を考え、1年生は、リュック サックに付ける班札を作成しました。

たくさんの準備を経て、いよいよ生活科見学がスタートしました。多摩六都科学館には地球、 自然、しくみ、からだ、チャレンジの 5 つの体験型の展示部屋があります。実際に体験できるも のもあれば、標本などを見て学べるものもあり、様々な経験をすることができました。初めて見 るものに興味津々となり、夢中になって見学をしている姿はとても微笑ましかったです。多摩六



都科学館の一番の見どころであるプラネタリウムでは、臨場感溢れる 宇宙空間に身を投じ、日常では味わえない神秘的な体験もすることが できました。

事後学習では、「初めて見るものがいっぱいでわくわくした。」「プラネタリウムで、星座にはお話があることを知った。」などと振り返っており、まさに発見の連続だったことが伺えました。1年生にとっ

ては初めての校外学習でしたが、2年生を見習いながら、約束を守り、上手に見学をすることができました。2年生は、昨年度、上級生の背中を見ながら学んだことを生かし、今年度は上級生としての自覚をもち、リーダーシップを発揮して活動することができました。多摩六都科学館での経験が子供たちの興味・関心に繋がり、希望に満ちあふれる子供たちの未来が広がることを願っています。

### 児童生徒会役員選挙

#### 児童生徒会担当 叶谷 将樹





9月12日(火)に児童生徒会役員選挙が行われました。立候補者の児童・生徒は夏休み前から選挙公報やポスター作成に取り組んできました。 9月に入り、いよいよ選挙運動も本格化し、毎日朝から大きな声で呼びかけを行う姿が見られました。迎えた当日、何度も練習した原稿を確認しながら壇上で待つ立候補者。自分の演説が始まると、各立候補者たちは練習以上の素晴らしい演説を行ってくれました。そして先日には初の委員会も終え、第13期の児童生徒会として立派にスタートを切っています。彼らの今後の活躍が楽しみです。

## 10月行事予定

#### 諸事情により予定が変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	±
1	2	3	4	5	6	7
都民の日	朝礼 安全指導 桜祭特別時程 桜祭実行委員会			たてわり遠足 委員会	避難訓練 英検	
8	9	10	11	12	13	14
	スポーツの日		小学部午前授業 たてわり遠足予備日	児童生徒総会		土曜授業 稲刈り(5) 室町体験学習(6) 桜祭リハ(7~9)
15	16	17	18	19	20	21
	期別朝礼Ⅱ			桜祭実行委員会	桜祭(弁当持参)	
22	23	24	25	26	27	28
	期別朝礼 I 進路説明会(9) 祭実行委員会		領域診断テスト(9) 午前授業(9年は5時間 授業)	クラブ	下町校外学習(8) 進路面談始(9) 給食試食会	
29	30	31	11/1	2	3	4
	桜学朝会	5時間授業	開校記念集会 午前授業	研究発表会	文化の日	

相談予約は専用携帯へお願いします。小学部:080-7798-3201 中学部:080-7798-3336(5・6年生は中学部用でも可)